

# 県都大分のまちづくりと交通体系の必要性

## 1. 県都大分のまちづくりビジョンフォーラムでの議論より

### 街づくりフォーラムの結果

<理想の街：街づくりに必要なこと>

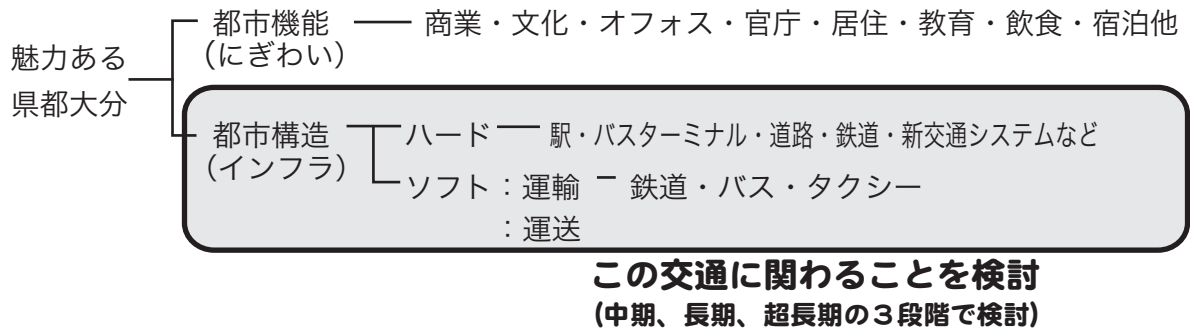
- ・ 2核1モール構想。(大型店と大分駅を極とする)
- ・ 中心部はバリアが低く移動しやすい。
- ・ 公共交通が整備され誰でも中心部へアクセスしやすい。
- ・ 中心部内を公共交通でも移動できる。

### まちづくりの手順

まちづくりは今できることを考えて行うのではなく、なにがベストなプランかを常に考え、将来ベストなプランが実現できるように今の計画を実施していく。

街へ集まり、街なかを移動しやすく

**交通体系はどうすべきかを検討する。**



## 2. 大分市の都心南北軸トータルデザイン設計業務のプロポーザルに対応

大分市の都心南北軸デザインの全てが決まってしまう。  
 設計業者チームを公募し、1次、2次審査を行い決定する。  
 第1次審査が7月22日、第2次審査が9月28日(最終決定)  
 決定業者は今年度中にトータルデザインコンセプトを策定する。(方向性が決まる)

大分経済同友会として、公募するプロポーザルの参考資料として提案したい。

**都心南北軸の交通体系を検討する。**

## 3. 国の施策にいち早く対応する

今年度、国が制定しようとしている「交通基本法」に対応した交通計画の基礎資料とする。  
 「各市町村自治体も交通計画を策定しても良い。」ということになる  
 国が制定すれば、大分県、大分市も連動して交通計画を策定する。

**交通計画の基礎資料を作成する。**

<今後の動向イメージ>

- H.22 大分経済同友会 交通体系プラン
- H.23 国土交通省 交通基本法制定  
大分県 都市交通戦略 策定
- H.24 大分市 交通計画 策定